



<調査結果の活用について>

調査結果の分析にあたっては、教科調査の平均正答数、平均正答率のみならず、個々の問題や領域等に着手して学習指導上の課題を把握・分析したり、学習指導要領の趣旨を踏まえた取組、ICT機器の活用、挑戦心・自己有用感・幸福感等に係る質問調査の結果と合わせて総合的に分析、評価したりすることを通じて、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることも重要である。

「令和6年度全国学力・学習状況調査の結果公表及び調査結果の活用や取扱いについて」(令和6年7月29日通知より)

全国学力・学習状況調査の「質問調査」の項目には、「**学習指導要領の理念**」が示されています

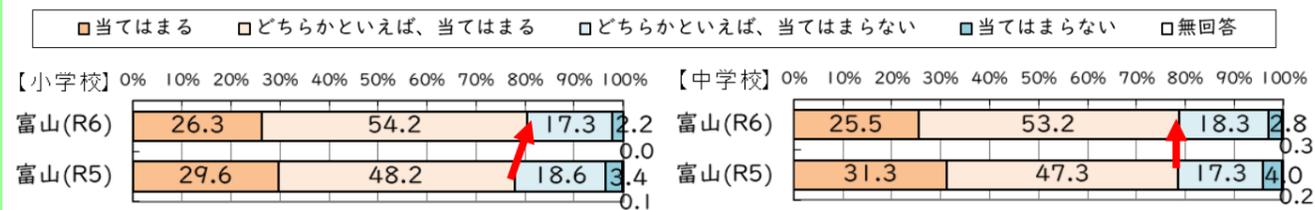
「全国学力・学習状況調査」の児童生徒質問調査から、指導の参考となる項目を挙げました。調査結果を基にして日頃の指導を振り返り、各学校の教育指導や学習状況の改善・充実に生かしましょう。

学習指導要領の趣旨を踏まえた取組

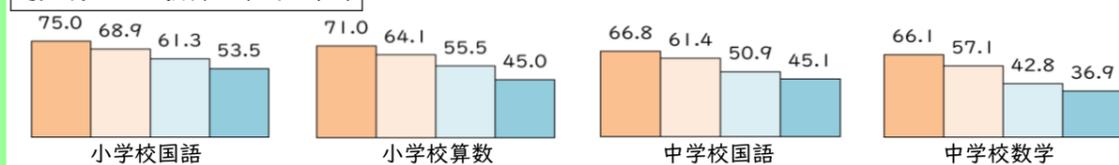


富山県の結果は前年度より改善傾向がみられますが、各学校においてはでしょうか。また、クロス集計の結果から、主体的・対話的で深い学びに取り組んだと考える児童生徒ほど、各教科の正答率が高く、自分で学び方を考え工夫していると言えます。自校の結果を確認し、授業改善に役立てましょう。

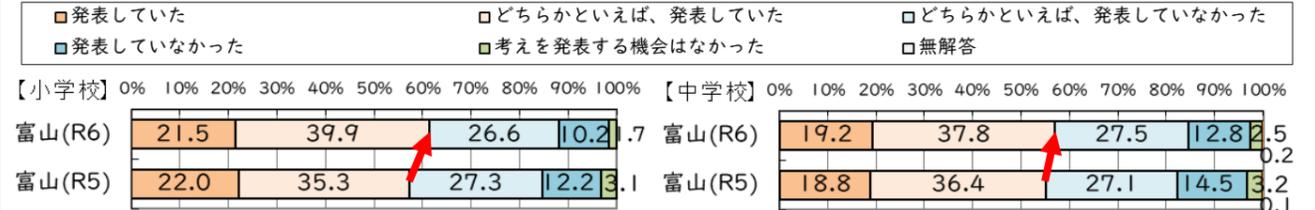
(30) 5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



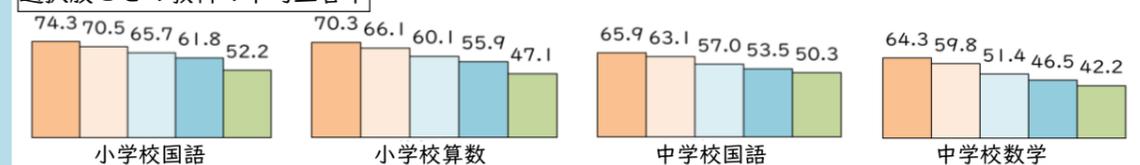
選択肢ごとの教科の平均正答率



(29) 5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



選択肢ごとの教科の平均正答率



ICTを活用した学習状況

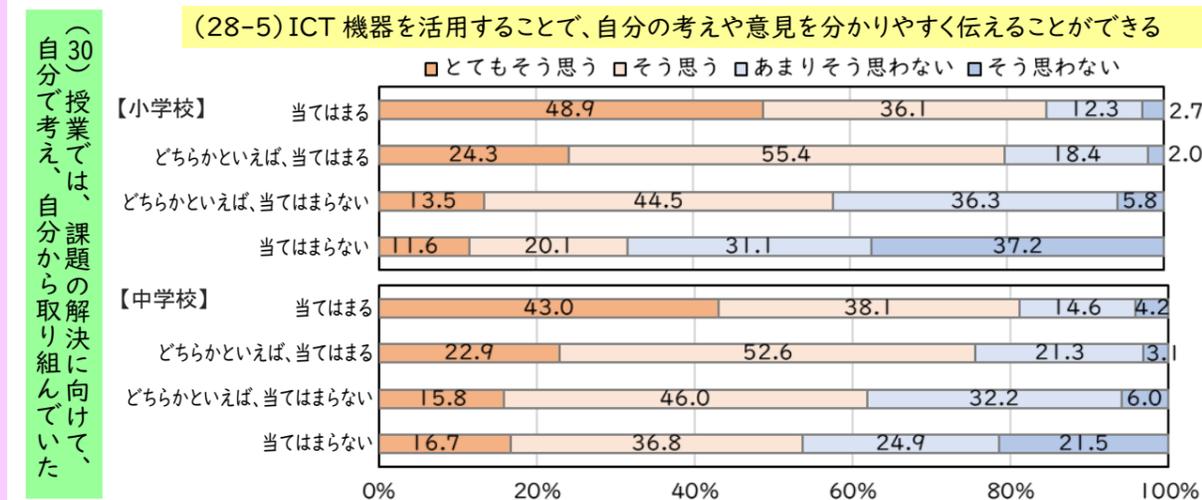


ICT機器の活用状況には課題がみられますが、クロス集計の結果から、主体的に学習に取り組んだと考える児童生徒ほど、ICT機器を活用することで考えや意見を分かりやすく伝えることができるなど、ICT機器活用の効力感が高いと感じているようです。

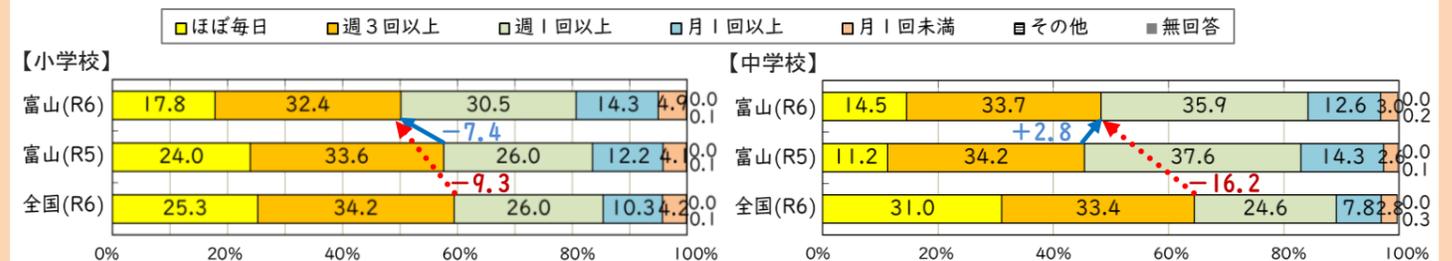
質問 30

質問 28-5

[課題の解決に向けて自分から取り組んだ] × [ICT機器活用で考えや意見を分かりやすく伝えられる]



(27) 5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



課題の解決に取り組む学習活動を行っている学校ほど、考えをまとめ、発表・表現する場面でICT機器を活用している傾向が見られます。その両方に取り組んだ学校の児童生徒は、各教科の正答率が高くなっています。ICT機器の活用を「当たり前」のこととし、効果的に活用して授業改善を進めていきましょう。



※「令和6年度全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実にに向けた説明会」説明資料より